

巻頭言

大学図書館の役割と課題

大学・短大の図書館の役割は、これまで通り、学習、教育、そして研究の場を提供することです。学生が自学学習をする際にも、教員による、さらには学生相互による教育にも、そして学生並びに教員の研究の際にも、一定の空間が必要で、図書を備えた空間がなければなりません。

とはいえ、時代の変遷とともに、学習・教育・研究の仕方も変わってきており、従来のように、静かな空間だけが求められるというのではなく、議論しながらの学習や研究ということも求められるようになりました。その際に使用する図書や資料も紙媒体のものばかりではなく、電子ジャーナルや電子書籍のような電子媒体のものもあります。議論で使用する機材も、それに対応して電子媒体を表示できるものも必要です。当然ながら、情報リテラシー教育・メディアリテラシー教育は必須なものになっています。

このように、図書館も静かな空間の確保のみならず、その他の活動に必要なラーニング・コモンズのような空間も求められるようになりました。この一見して相反する要望に応えるには、ある程度の規模の空間が必要になるし、防音設備も必要になります。

対策としては、別々の空間にそれぞれの機能を有する場所を確保するか、いまある空間を設計し直すかということになります。いずれにせよ、大学・短大図書館機能を現代の要求に見合う形で整備していく必要があるということです。

各大学・短大の図書館は、このような要求に応えるべく、さまざまな取り組みをしています。本学図書館も、学生さんや教職員の方々からの要望をお尋ねし、できる限りの改善を図ろうとしています。皆様のご意見をどうぞお寄せください。



図書館長 石橋 孝明

目次

1. 巻頭言	1
2. 随想	2
3. 世界の図書館	4
4. 特集	6
5. 私のすすめる一冊	13
6. 純真学園図書館 利用案内	16
7. 図書館だより	22

随 想

放射線による胎児への影響



医学の進歩とともに放射線診断の機会が増加し、診断低線量照射について社会的な注目が高くなっている。妊娠女性でも例外でなくその被曝により将来起こるかもしれない障害の大小と検査の有益性との判断を要求される。また、2011年3月11日、宮城県牡鹿半島からマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、大津波を誘発する形で東北地方を中心とする広範な地域に甚大な被害を及ぼし、その影響で福島原発事故につながった。特に社会的に関心が高いのが放射線による胎児への影響である。

胎児は子供や成人に比べ放射線の感受性はより大きく、照射時期や線量によって影響が異なる。心配されるものは胎芽・胎児死亡（流産）、外表・内臓奇形、発育遅延、精神遅滞、悪性腫瘍、遺伝的影響などである。

妊婦が放射線被ばくした場合、胎児も被ばくする可能性がある。胎児期は放射線感受性が高く、また被ばくする時期により影響の出方に違いがあることが分かっている。放射線による胎児への影響は、一度に100ミリシーベルト以上被ばくした場合に起こると考えられている。また、胎児の精神発達遅滞や奇形の発生には閾値が存在するが、発がんのリスクには閾値がない。

胎児の発育期は、着床前期（受精0～8日）、主要器官形成期（受精9日～60日）、胎児期（受精60～270日）に分けられ、時期により発生する異常が異なる。主な異常と胎児発育期間およびしきい値がある。流産（胎芽・胎児死亡）は着床前期に最も多く、器官形成期の被曝でも起こる。そのしきい値は100mSv以

純真学園大学 保健医療学部 放射線技術科学科
具 然和

上である。

外表・内臓奇形は器官形成期にのみ起こり、各器官でその細胞増殖が最も盛んな時期の照射に特徴的に発生する。100～200mSvがそのしきい値である。発育遅延は2週～出生までの時期で認められるが、そのしきい値は動物実験で1000mSv以上照射すると起こることより推測される。精神遅滞は8～15週に最も発生し、16～25週にも起こる。しきい値は120mSvと考えられている。100mSv以下では精神発達遅延は臨床的に認められていない。ICRP（国際放射線防護委員会、1991）では8～15週に1000mSvを照射するとIQは30ポイント下がり、重篤な精神遅滞は40%発生するとしている。がんは15週～出生までに起こり、しきい値はICRPでは50mSv以上としている。白血病、甲状腺癌、乳癌、肺癌、骨腫瘍、皮膚癌が主なものである。遺伝的影響は高線量照射による動物実験では認められるが、ヒトの疫学調査では統計的有意差が見られていない。しきい値はUNSCEAR（原子力放射線影響に関する国際科学委員会、2000）では1000～1500mSvと推測している。従って、しきい値を超えない限り、誘発するものではない。正しく理解し、医療の恩恵を受けるのが賢明な生き方であろう。

随想

ぼっちな食卓 限界家族と「個」の風景



純真短期大学 食物栄養学科
津村 有紀

1980年代から「孤食」が社会問題として取り上げられるようになり、その後「個食」という言葉も使われるようになった。「孤食」は一人で食べることを指し、「個食」は一緒に食卓を囲んでいてもそれぞれが別々のものを食べることを指す。「孤食」や「個食」は、自分好みの同じ物ばかりを食べることから、好き嫌いが増えて栄養バランスが偏ったり協調性が損なわれたりすることなど心身への悪影響が懸念されている。

近年では、単身世帯や核家族が増加し、生活時間帯の夜型化や食事に対する価値観の多様化により食事を共にする（共食）機会は減少の一途をたどっていることから、家族がバラバラに食事をするのが当たり前になってきているのである。

最近手にしたこの本は「食卓」を定点観測の場として、同一家庭の10年後、20年後の変化を追跡調査し、20年間の家族の変化や現在の家族の在り方、食卓で起きている変化についてのリアルな結果を示している。調査は、大変綿密な手法で行われており、過去の記憶だけでなく、当時の具体的な回答と比較されている点、またその記録が本人の記憶と乖離していることも大変興味深いものであった。思っていたよりもずっと家族の個人化は進行していた。家族それぞれがお互いに干渉することなく「各自の自由」に重きを置き、大人も子どもも自分の食事は自分で調達するなど、共食の機会の減少は深刻である。さらに、家族が揃って食事をするだけでなく、家族が揃って食事をするためのテーブルと椅子があることも当たり前ではなくなっている現状にも驚愕した。

これまでの国内外の研究で、食事を共にする頻度が

高い人は、食生活が良好な傾向であることが報告されている。また、食を通じたコミュニケーションは食の楽しさを実感させ、心の豊かさをもたらすことにもつながる。この本の調査結果も「共食」の重要性を強く感じさせるものであった。衰退の方向に向かっている「共食」の大切さをもう一度見直し、これからの家族の在り方や食生活の在り方を考えていかなければならない。

「ぼっちな食卓 限界家族と「個」の風景」

(岩村 暢子 著／中央公論新社)

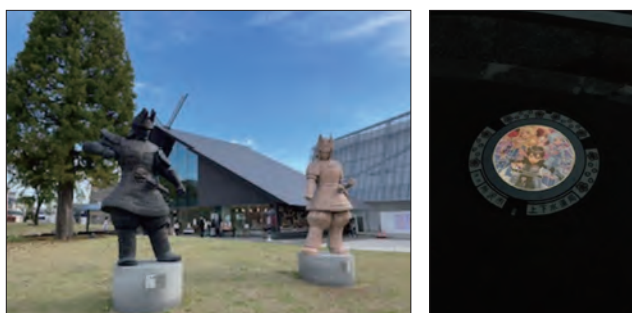
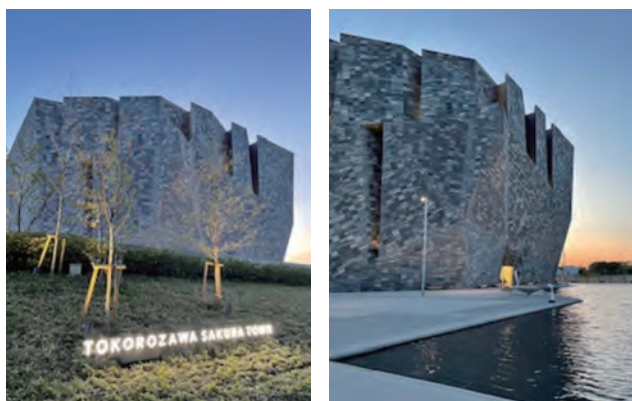


紹介図書

※紹介図書は、図書館：特集展示コーナーで読むことができます（貸出も可能です）

世界の図書館⑬ 角川武蔵野ミュージアム

純真短期大学 こども学科
川崎 徳子



2022年4月、埼玉県所沢市にある「角川武蔵野ミュージアム」を訪れた。

このミュージアムは、2020年11月に開館、KADOKAWAと所沢市が共同で進める街づくりプロジェクト「クールジャパンフォレスト構想」の拠点施設、

「ところざわサクラタウン」のランドマークであり、図書館と美術館、博物館が融合した複合的ミュージアムである。「ところざわサクラタウン」は“日本最大のポップカルチャー発信拠点”を謳っており、イベントホールやショップ、レストラン等もある。

JR 武蔵野線東所沢駅からミュージアムまで10数分歩いたが、様々なイラストが描かれたマンホールのおかげで、十分楽しむことができた。羽田空港から所沢駅東口行のリムジンバスに乗り、「ところざわサクラタウン」で降りる方法もある。

このミュージアムのデザインを手がけたのは、世界的建築家の隈研吾氏で、その外観には圧倒される。大地から湧き出てくるマグマをイメージし、約2万枚の花崗岩を組み合わせて作られた61面体の建物は、眺める角度によって表情を変える。

ミュージアムは地上5階建て、1階は企画展示を行う「グランドギャラリー」と3万7千冊の蔵書がある「マンガ・ラノベ（ライトノベル）図書館」、2階はロビー、チケットカウンターやカフェである。3階は「EJアニメミュージアム」、4階には吹き抜けの本棚に角川出版物や個人蔵書2万冊が入った「本棚劇場」（4・5階吹き抜け、30分に1回のプロジェクションマッピング有）や2万5千冊の本が並ぶ「エディットタウン・ブックストリート」（エディットタウンには美術館と博物館も入っている）、荒俣宏氏監修の「荒俣ワッダー秘宝館」がある。5階は武蔵野の文化や歴史が分かる「武蔵野回廊」「武蔵野ギャラリー」やレストランと、各階に多彩な展示がされている。

本の配置も独特、AIが行う『連想検索』で、類似する作品が近くに配置されている。興味をもった本の近くを探せば、気に入る本に出合える仕組みだ。そば



の椅子に座り、本を読んでいると、時間が経つのを忘れてしまう。

ミュージアムのそばには、モダンな「武蔵野坐礼和神社（むさしのにます うるわしき やまとの みやしる）」（天照大神を祀る）がある。この神社も隈研吾氏のデザインで、命名は令和（元号）を考案したといわれる国文学者の中西進氏、天井画制作は画家の天野喜孝氏である。

隣接する「チームラボ どんぐりの森の呼応する生命」には暗くなると灯りがつき、我々を不思議の世界に誘ってくれる。

ミュージアムをたっぷり楽しみ、また歩いて駅に向かった。マンホールはライトで鮮やかに浮かび上がり、昼とは違う趣を醸し出していた。

皆さんもぜひ訪れて頂きたい。一日過ごせる図書館である。



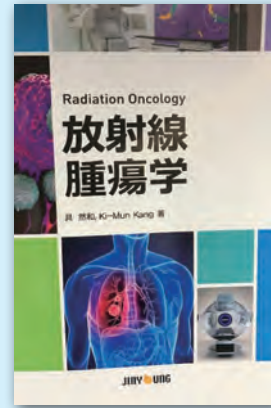
かどかわむさしの
角川武蔵野ミュージアム

住所：埼玉県所沢市東所沢和田3-31-3
 電話：0570-017-396
 営業時間：日～木曜10:00～18:00
 （最終入場17:30）
 金・土曜10:00～21:00
 （最終入場20:30）
 ※レストランのみ 11:00～22:00（21:30 L.O）
 休館日：第1・3・5火曜日
 （祝日の場合は開館・翌日閉館）
 チケット：1,400円
 （KCMスタンダードチケット・内容により
 値段が変わる）
 ※WEBサイト・当日券



紹介図書

教職員の著書・訳書



放射線腫瘍学

（具 然和、Ki-Mun Kang 著）
 真栄企画出版社

著者からのコメント

この「放射線腫瘍学」の本は、放射線治療に必要な基礎知識から具体的な治療法まで、図表を使って解説した本である。診療放射線技師や看護師などのメディカルスタッフのためのテキストであります。

放射線治療は、外科療法や化学療法と共にがん治療を支える3本柱の1つで、がんの根治を目指す治療や、症状緩和を目指す治療などで、目的により治療の方法を選択することです。比較的病巣が小さい場合など病状によっては、放射線治療単独でもがんを治癒させることが可能です。放射線治療の最大の特徴は、他の治療方法より低侵襲で、体への負担が少なく済む事が挙げられます。また、切除することなく治療が可能であり、機能及び形態の温存にも優れています。そのため、生活の質（QOL）を保ち、治療を行うことができ、働きながら治療を受けられます。本書は、診療放射線技師や看護師などのメディカルスタッフのためになる学生のために放射線治療の基礎から臨床まで記した一般的な教科書であります。本書は、放射線治療生物学のメカニズムを基本に放射線治療への応用において基礎から臨床まで展開する過程を記した本であります。特に実務に役立つ放射線治療教育の目的であります。診療放射線技師を目指す学生の基礎放射線治療の理解と臨床放射線治療に役立つ本であります。

※紹介図書は、図書館：特集展示コーナーで読むことができます（貸出も可能です）

特集

育児の意味：内なる自然を守る母乳育児

純真学園大学 看護学科
吉永 宗義

1. 育児相談のむずかしさ



純真学園の短期大学にはこども学科があり、子どもの健やかな成長を見守る人材の育成にあたっている。子どもの成長の手助けをする仕事はとても魅力的なことと思っている。私は小児科医であるが、新生児医療を専門とし、病気の子どもたちの治療にあたり、子どもの健康を医療の面から携わってきた。

さて、現在の子どもたちが置かれている環境は世界的に見ても多くの問題を抱えている。

それは医療の面だけではない。戦禍の中での子どもたちは命の危険ささえも日常的な問題である。近年は本邦においても貧困、虐待、犯罪、多様な家族形態の中で翻弄されている子どもたちの姿が見られる。これらの問題は体の健康にとどまらず心の健康にも目を向ける必要性を感じさせる。私は先に述べたように小児科医である。小児科医は子どもの病気を予防し、治療する仕事をしているが、大学を卒業し研修医になった時に、指導医から、「小児科の仕事は大きく2つ分けられます。一つはハードな小児科で、もう一つはソフトな小児科です。」と教えられた。ハードな小児科とは私が専門としている新生児医療や、生命にかかわるような先天性心疾患や白血病のような血液疾患を扱う医療であり、一方ソフトな小児科というのは育児相談などを行うことだということであった。医療というとハードな面をイメージしやすいが、小児科医にとって最終的にはソフトな小児科がゴールであると考えている。ソフトな小児科を提供するためには、子どもたちの発達、病気はもちろん、子どもたちが置かれている環境（家族関係、社会的立場など）の問題など多様な

知識が必要とされ、これらの健康上の問題を念頭に置きながら保護者たちの問いかけに答えなければならない。診断治療といった医学的な知識は日進月歩（あるいはそれ以上のスピード）で進歩しており、時には数年前の常識が現在では間違いであったり、修正されたりすることは多々ある。しかし、その進歩を理解する努力をすればある程度知識の劣化を抑えることは可能であり、技術も維持できるかもしれない。しかし、育児相談は多くの医学的知識に加え、育児に関する知識とともに多少の経験も必要となってくる。自分自身が親としての経験を踏めれば良いのであろうが、そのためにはそれなりの年齢にならないと難しい。私は20代後半で父親となったが、30代まで保健所の3ヵ月健診や3歳児健診に従事する時には、この育児相談が苦手でもあった。

また、育児については、医療関係者だけが専門家ではなく、子育てにかかわる教育関係者、行政職者、さらには自らが子育てを経験して立派に子どもを育ててこられた方々が、知識や経験をもとにそれぞれにご意見をお持ちである。

そのような葛藤の中で、私は新生児学・医療の先駆者である山内逸郎氏の下で研修を受ける機会を得た。山内先生の生涯の取り組みとして母乳育児支援が知られ、母乳育児を「生物学的当為、であるといい、ヒトが人間になるための基本的な信頼関係を形成すると述べている¹⁾。その山内先生の教えによって母乳育児支援に関わることができ、育児相談の場を多く経験することにつながった。同時に多くの母親たちの育児の悩みや経験を聞く機会に恵まれ、小児科医として成長させてもらったと思っている。

2. ヒトにとっての 家族の成り立ちとは



L・マルグリスは『ミクロコスモス』の中で進化における共生説を紹介している²⁾。地球の歴史というのは、約46億年で、生命が誕生したのは約30数億年前である。この間地球上において共生するという事は進化をするうえでの戦略であり、地球上のすべての生命が、地球そのもの（地球も大きな意味での生命体）と共生しているといっても過言ではない。特に、人間におけるその基盤となるものは家族の中でも生きることである。この家族はどのようにして形成されるにいたったのであろうか。育児を考える際にこの家族の持つ意味は大きい。

子どもの哲学の根本問題は、「存在」だと永井均が述べている³⁾。存在を自覚することは、一人ではできない。他者の他者としての存在を自覚する必要がある。すなわち他者とのコミュニケーションによって存在を自覚する。人間のコミュニケーションの特徴は、対面的なコミュニケーション、見つめ合いである。チンパンジーでは母子間の相互交渉があり、見つめ合いによって形成された自己と他者の関係である二項関係の中で認知的に成長するが、自己、他者、物という三項関係は見られないと報告されている⁴⁾。一方、人は、見つめる、微笑むという、母子関係の中で二項関係が成立し、赤ちゃん自身も母親に働きかけて指さしなどを通して三項関係を積極的に構築しようとし、母親も言葉かけによって言語の獲得にさまざまな手がかりを与える。このような三項関係というのができていくというのは人だけである。

このようにして母子間の基本的な信頼関係によるコミュニケーションを発達させ、その結果、母子関係を基盤とした家族というものもでき上がる。ゴリラの研究で有名な霊長類学者の山極寿一が「家族進化論」の中で、「自己犠牲を行うことによって自分が死んだとしても子孫を増やすことにつながる。自分の命を犠牲

にしてでも自分の子どものために一生懸命働くという事を親はやっていく。さらに、仲間に対する共感、これはコミュニケーションによってつくることができる。そして、仲間への奉仕をし、道徳や良心というものができ上がってくる、これが人間社会の特徴だ。」と述べている⁵⁾。山極は、この共感を生み出す重要な因子として、人間の脳内にみられるミラーニューロンの存在を指摘している。ミラーニューロンは高等な霊長類にみられ、他者と同調して反応することが知られている⁶⁾。また、人間特有の道徳性の確立には、他者に対する共感や思いやりを要求する自己抑制が必要であり、それには強力な「自己」の概念が求められる。

3. 家族の成り立ちに 与える育児の意義



人類の祖先であるサルは、恐竜が絶滅した後、熱帯のジャングルの木の上で生活するようになった。霊長類学者の河合は『森林がサルを生んだ』の中で、熱帯のジャングルの木の上というのは、猛獣によって襲われず食べ物が豊富にあるために、個体数が爆発的に増えていく危険性があったため、人口抑制の戦略ということをしなくてはならなくなったと述べている⁷⁾。そのために、1回の妊娠で一人しか子どもを産まなくし、妊娠期間を長くした。ヒトでは子宮内での脳の発育が身体発育より大きく、経膈分娩を可能とするには脳が過大にならないように未熟な状態で子どもを産むことになり、生まれた子どもは母親に依存しなければ生存できない。成長させるための授乳期間は長くなり、その結果泌乳を維持するためのプロラクチンは分泌され続けることによって、排卵の抑制すなわち次の妊娠の機会が減少して人口増加が抑制される。結果的に一人の子どもに対して長い育児期間が与えられることになる。この間授乳をする度に子どもを抱くことになる。育児期間中に母子に何が起こるのだろうか？それについては後述したい。

ところで人間ほど子どもを育て終わってからも長く生きる動物というのはいない。それは子どもたちがたくさんになってくると、親だけではそれを支えきれず、ましてや母親だけでは支えきれない。まずは、父親の育児参加が必要となる。その父親が子育てに参入することによって、母子だけの向社会的な行動というのが、オスと子どもたち、そして年長の子どもの遊びの中で拡大していき、結果として共感と同情を抱く機会が増大することになる。しかし父親というのは、それなりの資格が必要である。①単位集団に所属する雄で、②単位集団の防衛にあたる、③単位集団の生活の維持のための経済的活動をする、④そして、そこにいる子どもが自分の子どもであることを認識して子育てに参加する。特に④の資質はゴリラや人間だけに見られ、家族の形成に重要な要素である。さらに、祖父母の協力も得て共同養育が可能になる。人の脳には育児を喜ぶ脳の領域があると考えられており、親でなくとも親性をもつことが可能と考えられている。家族の形態は多様化してきているが、子どもを中心として、性別や年齢にかかわらず親性をもつ養育者の存在が必要である。

4. 育児の出発点



先に紹介した山内先生は、第 21 回日本小児科学会セミナーでの「Human biology の原点」という講演の中で、「人間とはヒトという名の生物である。その人間を診る医学関係者の興味は病態であり、ヒトの生物学（すなわち生理学・生化学）を主として細胞・組織・器官・系統のレベルでとらえている。しかし、人間社会とは個体特に個体としての行動や複数の個体相互の関わり合いである。」と述べていた。その「関わり合い」の出発点は、出産時の出産した女と出生したヒトとの出会いであり、この行動の出発点がヒトの生物学・行動学では最も基本的な重要性を持っている。


児は出生時には母親を十分に認知しうる状態（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚は不完全ながら完成している）にあり、出生直後の意識レベルは覚醒状態にある。一方、母親は授乳によって母親となる。プロラクチンやオキシトシンといった授乳に関わるホルモンが、単純に催乳や射乳を引き起こすというだけでなく、育児している個体を見たことがない若いニホンザルの行動でも、出産後に授乳という行動をとることができると、その後の母親行動を引き起こすことが観察されている。

授乳中にはこのようなホルモンの影響だけでなく、副交感神経が優位になることも知られており、リラックスしている時に見られる脳波成分が増加しているともいわれている。母親にとってはこのように授乳を通して出生直後がヒトとしての関わり合いの出発点となる。この出生・出産という出発点からほぼ 1 年間は母子にとって授乳という行為が毎日数回以上継続して繰り返し替えられ、赤ちゃんにとっては求めれば母の胸に抱かれて哺乳により空腹感を満たされて心身とも満足感を得る。これが母子の基本的信頼関係の構築につながるのである。赤ちゃんが感染にかかりにくいとか、栄養摂取が適切であるとか、母親にとっても健康をもたらすとかいう母乳育児のメリットは、母乳育児をしたことによって自然にもたらされる結果であり、それは合目的・合理的結果である。何より、母乳育児を通してヒトとして重要でその存在を特徴づけている個体間の信頼関係の醸成が自然にもたらされる。

5. 母乳育児の行動学的意義



河合は『子どもと自然』という著書の中で「内なる自然、という言葉を使っている⁸⁾。内なる自然、とは、「進化史を通じて、人類の存在の根本を形成している諸形質のことをいい、系統発生的適応を通じて人間の心性の奥深くに形成されているものである。」と述べ



ている。この「内なる自然、というものが荒廃したら人間は人間としての存在を失うことになる。『内なる自然、こそ人間の人間たる根源的な形質であろう。生命学者の中村桂子は、母乳育児シンポジウムの特別講演「『生きている』を見つめ『生きる』を考える』の中で、「生きものが続くために、「早い」「手抜き」はできない。機械の世界は効率よさが重要だけれども、生き物の世界は、プロセスが大事である。今の生き物は、全てゴキブリから何から全て38億年の歴史を持っている。便利さの反対側で壊されていくものが、今、この社会の中にある。外の自然が壊れれば、心という体の中の自然、すなわち、『内なる自然、も壊れていく。母乳の大事なところは赤ちゃんを抱っこして、ゆっくり飲ませる以外ないというところである。そうすると本当の意味の愛（philo）が生まれてくる。」と述べている⁹⁾。


さて、もう一度最初に戻って考える。私は母乳育児の向かうところは、コミュニケーションを通して『内なる自然、を醸成することだと考えている。体の成長としての栄養や、心の成長のためだけではなく、母乳育児が持っている「人間社会を守っていくことができる人を育てる」という有効性を忘れてはならない。

今、コミュニケーションが変容してきて、上に述べたような家族というものが維持できなくなりつつあるという問題が出てきている。ソーシャルネットワークシステムが進歩して何千キロも離れた人たちとコミュニケーションがとれるようになってきた。これは、それなりに拡がりがあるという意味ではいいのかもしれない。しかし、家族という共感にあふれる人々の輪の中で育ち、見返りを求めず、自分の成長のために大きな犠牲を払って、尽くしてくれた人々の存在がなくなるところで生きていかなければならなくなる。その結果、他者に対する共感や思いやりを要求する自己抑制が失われていく。

さらに今後の人類の未来について考えてみると、レイ・カーツワイルは『ポスト・ヒューマン誕生』の中

で、近い未来にテクノロジーと人間の機能が融合する時期に入って、その結果宇宙が覚醒すると言っている¹⁰⁾。彼によれば、進化のような歴史的な成長曲線は指数関数的曲線であって、特異点を過ぎると爆発的に成長するようになっていく。地球はずっと進化してきて、ある特異点のところに差しかかりつつあり、2040年以降になってくると、人間の脳全てよりも計算できるようなコンピューターができてくだろうと予想している。これを「コンピューター2045年問題」といい、コンピューターが人類を超える日である。そこまでいかずとも人間はそのまま存続して、コンピューターが人間の機能を増強するネット社会として存続するかもしれない。ネット社会というのは、視覚と聴覚が重要で、触覚は要らない時代である。しかし、知的能力のみでの判断は間違いが起りやすく、発想も乏しくなる。それに対して触覚のように全身で感じることによる判断は確実である。人が生存し続けるためには手で触れる感覚や、体を動かすことによって作り出されるコミュニケーション感覚（調和）が必要である。もし、コンピューター社会によってこのような感覚が失われれば家庭内の調和（家族の信頼関係）も失われる。

鷺田清一は『「待つ」ということ』の中で、「育児というのは、ひたすら待たずに待つこと、そして、待っているということも忘れて待つこと、いつかわかってくれるということも願わずに待つこと、いつか待たれていたと気づかれることも期待せずに待つこと・・・という“待たずに待つ”という営みなのかもしれない。」と言っている¹¹⁾。これが究極の「待つ」である。看護師は「傾聴する」という言葉をよく使うが、聴くためにはジッと「待つ」ことが求められる、そうすると患者は自分の居場所を見つけ、自分でポツポツと話し始める。その結果、自分の心の中にあるものを自覚するようになる。鷺田は同時に、「家族というものがときに身を無防備にさらしたまま寄りかけられる存在であるとしたら、この、期待というもののかけらすらなくなっても、それでも自分が待たれているという感覚に



根を張っているからかもしれない。人は、待たれることが自分の存在の最後の支えの一つになり得ることを知っている。」とも述べている。すなわち、自分を絶対的に受け入れてくれる人がそこに存在することによって、それを最後のよりどころとして人間は生きていくことができる。抱くという言葉は、「手」偏に「包む」と書く。「包む」は、子宮の中に胎児がいるということである。子宮の中にいる子ども（胎児）は、暗くて静かなところで、温かい羊水というお湯につかって子宮からやさしく包まれて心地よく過ごしている。生まれた後は、腕によって（手偏の示す意味）包まれ、抱かれることによってその心地よさを感じる。母乳育児をすることは、一日に何度も抱くことを繰り返すことになり、その度に赤ちゃんに心地よさを与えて、お母さんが赤ちゃんを大切に思っていることを頻回に伝えることになる。この時に、対面的コミュニケーションが構築され、山内逸郎が言っていた人間になるための基本的信頼関係が構築されるのであろう。そして、これが「内なる自然」の根源的なものであると考える。したがって、母乳を与えながらテレビを見たり、スマートフォンを扱っているのは育児をしている姿ではない。残念ながら母乳分泌が少なく、ミルクを哺乳瓶で与えていても、愛情をこめて赤ちゃんの目を見て声をかけながら栄養していれば、立派な子育てである。我々医療関係者は母乳育児がスムーズに行えるように支援するだけでなく、母乳育児がうまくいかない人をどう支援するかということが求められている。

詩人谷川俊太郎の言葉に、「初め私は母親のからだの中にいた。私のからだは母親のからだは溶け合っていた。その快さはおそらく今も消えることのない意識下の記憶として、私のうちに残っている。私は母親のからだから出て、私自身のからだをもったが、そのからだはともすると、母親のからだの中へ帰りがた。」という文章がある¹²⁾。抱かれるという意味が伝わってくるように思われる。鷺田が言っていた、「自分を絶対的に受け入れてくれる人がそこに存在するこ

とによって、子どもたちというものが生きていける」ということは、抱かれることによって実現できるように思う。そして地球上での進化の結果、必然的に何度も何度も抱きながら母乳育児を行っている人間だからこそ、「内なる自然」を持ち続けることになると考える。

6. 母乳育児支援の現状



WHO/UNICEF は 1989 年に「母乳育児成功のための 10 カ条」を提唱し、世界のすべての分娩施設がこの 10 カ条を遵守することを要請した¹³⁾。その第 7 条に終日赤ちゃんとお母さんが一緒にいるようにすること、第 8 条に赤ちゃんが欲しがるときにはいつでも授乳をさせられるようにすることを求めている。この 10 カ条が制定される背景には、世界的な運動戦略の目的として、乳児の生存率の改善をあげるために、生後 6 カ月間は完全に母乳だけで育てられることがあげられる。

日本においては、2011 年の日本小児科学会雑誌に、「小児科医と母乳育児推進」という特集が組まれている¹⁴⁾。この論文には母乳育児支援、それから、母子の健康と母乳育児、あるいは母乳育児を行えない理由と対応というような言葉が入ってきているように、母乳育児の「支援」という考え方が明確に打ち出されている。母乳育児のメリット（母乳という物質が生体に与えるよい影響）については、医師や看護師の教育課程でしっかりと学ぶし、私もしっかりと講義している。赤ちゃんを感染症から守る（母乳中の分泌が多 IgA という免疫グロブリン、抗菌タンパク質であるラクトフェリン、オリゴ糖など）、栄養学的に優れている（脳の活動に必要なラクトースという糖、消化吸収がよいラクトアルブミン、脂肪の吸収に必要な BSSL というリパーゼなど）、赤ちゃんの健康のために母乳は欠かせないし、乳児死亡率を低下させることにつながる。さらには母親にとっても子宮復古を促進し、妊娠中に



増加した脂肪を減らす(体重減少)ことにもつながる。


このようなことは、どの教科書にも書いてあるし、誰でも少々調べればわかることである。このように母乳育児は多くのメリットがあるから母乳育児をなささいという指導を医療の現場では行ってきた。しかし、母乳の出が悪い母親もいて、中には母乳を飲ませたくない母親もいる。そのような母親に母乳のメリットを説いても納得させることができないばかりでなく、かえって追い込むことになったり反発を招くことになりかねない。母乳の出が悪い母親の中には、出が悪いのではなく出が悪くなってしまった(あるいは出を悪くさせられてしまった)場合が少なくはない。つまり、授乳のメカニズムをきちんと理解していない医療関係者や母乳育児の支援者が、間違っただ指導を行うことによって、本来ならばきちんと授乳できる母親の泌乳を阻害しているからである。多様な母親の考え方や医療者の考え方によって、授乳できない母親が増え、その結果赤ちゃんにとってかけがえのない母乳を飲むことができなくなるのは不幸なことであろう。

しかし、母乳育児率は、地域によってはいまだに低いところがある。その理由にはいろいろあるが、一つには現代のお母さんたちの母乳育児に対して抱えている不安があげられる。家族の形態として核家族化が進んできており、家庭内での育児を支援する家族も少なく、支援が期待できる祖父母との意見の対立もある。また父親にしても、十分な育児休業をとることや育児支援をできずにいる。このような家庭環境にある母子を、医療者が育児支援のプロとしてどのように支援していくかということが重要である。

現代の日本社会で日常的にみられるいじめ、虐待、種々のハラスメントへは多大な負担や努力を伴う対応や、場合によっては避難が必要となる。しかし、身体的健康と同様に、いったん病気に陥ったものを治療するより、予防が重要である。心の病気の予防には自己肯定感の醸成が必要であり、その自己肯定感の獲得は母乳育児によって基本的信頼関係の構築として最初に

もたらされる。

出生・出産を通して母親・父親は子どもと、子どもは母親・父親と邂逅する。この邂逅は人の一生の中で最も重要な意味を持つ。しかし、その邂逅が一人の人間として意味を持つためにはもう一つ階段を上る必要があると思う。それは、お互いのこの社会での基本的信頼関係である。この意味を小児保健に携わる者は理解しなければならないと思う。私は母乳育児支援を通して、育児支援者にとってこの基本的信頼関係の意味と構築する手段を多少なりとも考える機会を得ることができたと思っている。



◆文献

- 1) 山内逸郎：新生児。東京，岩波新書，1986
- 2) Margulis L., Sagan D. : Microcosmos - Fourbillion years of microbial evolution. 田宮信雄訳：マイクロコスモス - 生命と進化-。東京，東京化学同人，1989
- 3) 永井均：＜子ども＞のための哲学。東京，講談社，1996
- 4) 友永雅己：霊長類における三項関係と心の創発。Japanese Journal of Animal Psychology, 56(1) : 67-78, 2006
- 5) 山極寿一：家族進化論。東京，東京大学出版会，2012
- 6) Rizzolatti G, Fadiga L, Gallese V, Fogassi L. : Premotor cortex and the recognition of motor actions. Brain Res Cogn Brain Res. 3(2) : 131-41, 1996
- 7) 河合雅雄：森林がサルを生んだ。東京，平凡社，1979
- 8) 河合雅雄：子どもと自然。東京，岩波新書，1990
- 9) 中村桂子：“生きている”を見つめ“生きる”を考える。第 15 回母乳育児シンポジウム記録集，161-174, 2006
- 10) Kurzweil R. : The singularity is near : When humans transcend biology. 2005, 井上健 監訳：ポスト・ヒューマン誕生，コンピュータが人類の知性を超えるとき。東京，NHK 出版，2010
- 11) 鷺田清一：「待つ」ということ。東京，角川選書，2006
- 12) 谷川俊太郎：谷川俊太郎の問う言葉答える言葉。東京，イーストプレス，2012
- 13) WHO/ ユニセフ：母乳育児成功のために。東京，日本母乳の会運営委員会，1999
- 14) 小児科医と母乳育児推進 栄養委員会・新生児委員会による母乳推進プロジェクト報告。日児誌，115(8) : 1363-1389, 2011

※文献は、図書館：特集展示コーナーで読むことができます（一部貸出も可能です）

2023年度

貸出ランキング

(2023.04.01 ~ 2024.02.28)

大学生

1. 「臨床工学技士国家試験問題集」
(日本臨床工学技士施設協議会編／へるす出版)
2. 「老年看護ぜんぶガイド」
(八島妙子編／照林社)
3. 「病気がみえる〈vol.7〉脳・神経（第2版）」
(医療情報科学研究所編／メディックメディア)



短大生

1. 「小麦粉利用ハンドブック」
(長尾精一／幸書房)
2. 「乳の科学（食物と健康の科学シリーズ）」
(上野修一編／朝倉書店)
3. 「だるまちゃんとかみなりちゃん」
(加古里子／福音館書店)



最新科学が進化させた 世界一やさしいがん治療

武田 篤也 著
ベストセラーズ



本書は、手術つまり「切らなくてもいい」がん治療の選択肢として広がっていることをお伝えする本です。特に真面目な国民性である日本人は、「治療は苦しくて当然」と考える人が多いでしょう。がん治療においても手軽な方法を選んで治療したほうがいいでしょう。

放射線治療とは、がん細胞が正常細胞に比べ放射線に弱いことを利用し、病巣部に放射線を照射することでがんの治療を行います。放射線治療の特徴は、病変が限局している場合、がんの存在する臓器の形や機能を残したまま治すことが出来ることです。全身への負担が少なく、高齢者や体力のない患者さんでも治療可能であり、また、多くの場合は外来通院でも治療出来ることです。放射線治療の対象疾患は、喉頭がんや舌がんなどの頭頸部腫瘍、食道がん、一部の肺がん、前立腺がん、子宮頸がん、皮膚がんは放射線治療が非常に有効で治療成績は外科手術と同等です。乳がんなどのように手術と併用して治

療する場合もしばしばあります。その他、脳腫瘍、膵がん、直腸がん、悪性リンパ腫など多数の腫瘍が放射線治療の対象になります。放射線治療は局所療法ですので、病変が限局している場合がよい適応ですが、転移がある時でも症状の緩和に対し放射線治療は有効です。最新放射線治療の本としてがん治療に役立つ本です。

人には喜びや悲しみ、そして多くの思い出があります

私のすすめる一冊

心に残る『二冊の本』を教職員から学生みなさんに贈ります



脳のなかの天使

V. S. Ramachandran 著
山下 篤子 訳
角川文庫



著者のラマチャンドランは脳神経学者であり、患者の症例研究を通じて、脳の機能について紹介しています。ヒトの脳は重さ1.4kgほどで手の平くらいの大きさですが、その脳は、文字を書いたり、創造したり、探求したりできます。この書籍では、なぜヒトが他の生物と異なりユニークな進化を遂げているのか、人間らしさとは何かという謎について神経科学的なアプローチから解説がされています。特に、異常な身体感覚や視覚的な錯覚に焦点を当てており、私たち人間の最も大切な心的能力に関して予期せぬ洞察がされています。脳と心の関係についても議論しており、倫理的問題や宗教的な信念といったテーマにも触れています。また、脳科学の発展が私たちの人間性や精神世界にどのような影響を与えるかについても解説されています。「脳のなかの天使」は、脳科学に興味を持つ人や、脳と心の関係について深く理解したい人にとって魅力的な一冊になるかと思えます。

純真学園大学 保健医療学部
検査科学科 岸田 文

星の王子さま(新潮文庫)

サン＝テグジュペリ 著
河野 万里子 訳
新潮社



皆様ご存じの星の王子さまですが、翻訳者でどのように表現が異なるかを比較してみたくなり、数冊読み比べました。幼少期には、単なる物語としか思っていませんでしたが、改めて読むと、その内容の奥深さを知りました。なかでも、自分の星に残してきた一輪のバラが、自分にとってかけがえのない存在であったことに気づいた王子さまに対して、キツネが別れ際に伝える有名な言葉「一番大切なことは目に見えない」です。自分にとってかけがえのない人は、近くにいるときは、それに気付かず（目に見えず）、遠く離れたときにその人の大切さに気付くものです。今回、おすすめします河野万里子氏翻訳の星の王子さまは、現代向けの文体で非常に読みやすく、長年、国内で販売されており内藤濯氏翻訳の星の王子さま（今回、岩波文庫版を購読）とかなり印象が異なりますので、再度お読みいただければと思っております。

純真学園大学 保健医療学部
医療工学科 真茅 孝志

大奥

よしなが ふみ 著
白泉社



私のおすすめの1冊、どころか、「おすすめ19冊」となります。NHKのドラマとして放映されましたので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。

おすすめしたい理由は、二つあります。一つ目は、漫画という、「遊び」とされがちな分野でも、緻密な時代考証をもとに創作されている作品もあることを知って頂きたいため（漫画だって勉強になるのです!）。二つ目は、既にある事実でも違う観点から解釈すると、新しい発見に繋がっていくことを感じて頂きたいためです（物事を多角的視野から考えることは、勉強にとっても大切であると考えています）。

この「大奥」は、疫病の流行により男子の人口が1/4以下にまで激減した江戸時代、男女の役割が逆転したところから、熊痘（牛痘、種痘にあたる）の発見・普及により、男女の役割が戻るところまでが描かれています。

ただの男女逆転劇ではなく、時代と共に移り変わるジェンダー観や様々な差別、苦難も含んで展開される物語、お読みくだされば幸いです。

純真短期大学
食物栄養学科 橋本 聖子

保育者の地平

～私的体験から普遍に向けて～

津守 真 著
ミネルヴァ書房



この本は、保育学者である著者が愛育養護学校（現在の愛育学園、東京都港区、数少ない私立の養護学校）で、障がいをもつ子どもたちと向き合ってきた12年間の記録です。

大学卒業後、横浜にある情緒障害児短期治療施設（現在、児童心理治療施設）に勤務して12年目の時、職場の上司から勧められた一冊です。当時、横浜の職場を離れ、鹿児島に新設される施設のスタッフとして携わることを決断した私に、芯の通った支援者を目指せという上司の想いも込められていたように思います。

遊びをはじめ子どもたちが保育の中で表す動きについての深い洞察と関わりは、著者にしかできない表現で、まさに保育の求道者というべきものです。とても真似はできませんが、子どもに関わる著者のその姿勢は、私の支援者としての土台になっています。横浜の施設を離れる前（2001年）、職場施設長の御厚意で愛育養護学校に一日体験させてもらいました。その時の出来事、そして偶然お見かけした著書（2018年ご逝去）の後ろ姿は今でも私の大切な思い出です。本学図書館にあります。ぜひご一読ください。

純真短期大学
こども学科 下木 猛史

人生の短さについて 他2篇（古典新訳文庫）

セネカ 著
中澤 務 訳
光文社



皆さんは、自分の為に過ごす時間が取れていますか。自分の生活を振り返ってみてください。ただスマホを見てダラダラ過ごし一日が終わってしまう。友達との遊びを優先し、自分がやりたいことは先延ばしにしている。そんな経験はありませんか。

私给大家介绍する「人生の短さについて」は、古代ローマ帝国の政治家、哲学者セネカによって書かれた2000年もの間読み継がれている代表的な作品です。人生とは時間であり、その時間をどう使うのかを考えさせられます。

この書は、当時のローマ帝国食糧長官パウリヌス宛（セネカの妻の親戚）に書かれた手紙です。

セネカは、「人生は短いと嘆く人間は多いが、人生が短いのではなく、実は多くの時間を浪費し、短くしている。人生は十分に与えられていて、時間を有効に使えば人生を長くすることができる。」と説いています。そして、多忙だったパウリヌスに仕事を辞め、まだ元気があるうち

に閑暇な生活を送ること（自然の研究や徳の愛好に進むこと）を薦めます。

セネカは、いつまで生きられるかわからない中で、今日という日を自分の為に精一杯生きることの大切さを教えているのだと思います。この本は、古典新訳でとても読みやすい文章になっています。忙しく生きる現代の私たちの心に響くメッセージとなるでしょう。

図書館員
徳田 明菜

純真学園図書館 利用案内

開館日時

月～金 9:00 ～ 21:00
土 9:00 ～ 17:00

休館日

日曜日、国民の祝日
月末の最終平日（月末整理日）
館長が必要と定めた日

場所 学園本館 地下1F



①学園正門から
真っ直ぐ進みます



②左側、ドーム屋根
の建物が本館です

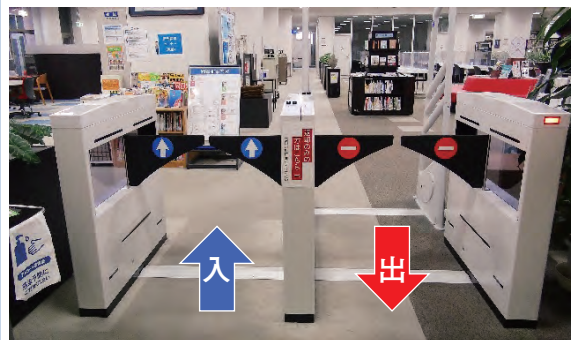


③本館地下1Fが図書館です



入館・退館方法

ゲートの左が入口、右が出口です。



学生（大学生・院生・短大生）



ゲートのICカードタッチ部分に学生証
をあてて下さい。
ゲートが開いたら通過して下さい。

教職員・その他の方



ゲートの磁気カードを通す部分に磁気カ
ードを挿入の後、手前に引いて下さい。
ゲートが開いたら、通過して下さい。

「資料」とは／「配架場所」とは

- ・ 資料……館内の図書 (=本など) や逐次刊行物 (=雑誌)、視聴覚資料 (CD・DVDなど)
- ・ 配架場所……資料を置いている場所

貸出と返却

START

探している資料が図書館のどこにあるか (配架場所を) をご存じですか?

NO

資料を探す (OPAC) へ

探し方は、図書館報の P18-19 を参考にしてください。わからない事がございましたら、カウンターへお尋ね下さい。

YES

探している資料は (配架場所に) ありましたか?

NO

貸出予約

他の人に貸出中かもしれません。貸出中の資料は、次に借りる予約ができます。カウンターへお尋ね下さい。

YES

貸出

借りたい本と学生証 (図書館カード) をカウンター職員へお渡し下さい。手続きいたします。

	貸出冊数	通常貸出期間	実習貸出期間	長期貸出期間
学生	10冊	14日	実習期間および実習開始前後2日間 (土日を除く)	(夏休みなど) その都度 期間を連絡
教職員	10冊	30日	無	
高校生 (専攻科含む)	5冊	7日	無	
卒業生	3冊	7日	無	

※ただし、視聴覚資料は【学生】1本3日まで、【教職員】5本7日までです。

YES

資料は (貸出期間内に) 読み (見) 終わりそうですか?

NO

返却

借りている本を、期限内にカウンターへお持ち下さい。返却手続きをいたします。

※返却が遅れた場合は、返却が遅れた日数分のペナルティ (貸出停止期間) が発生します。

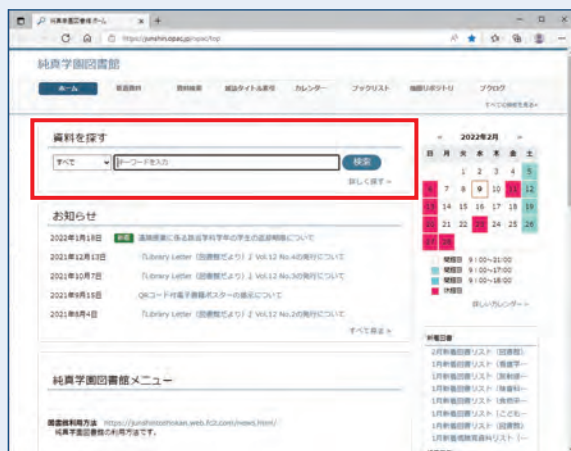
貸出期間の延長

貸出期間の延長は一度だけ可能です。 (予約が入っている場合を除きます) 貸出期限内に、カウンター職員へ図書とともに「延長します」とお伝え下さい。

★ 資料を探す (OPAC) おぼっく



図書館に入って左側が PC コーナーです。入口そばの一台は館内の資料を探すための検索専用機です。他のノートパソコンは自由に利用できます。
※高校生専攻科生は、検索専用機のみ利用可能です。

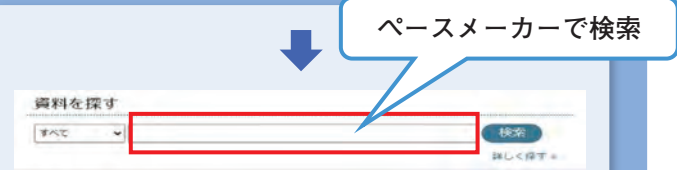


1 館内設置のノートパソコンからインターネットブラウザ (Edge、Chrome など) を立ち上げると「純真学園図書館 (ホーム)」が表示されます。

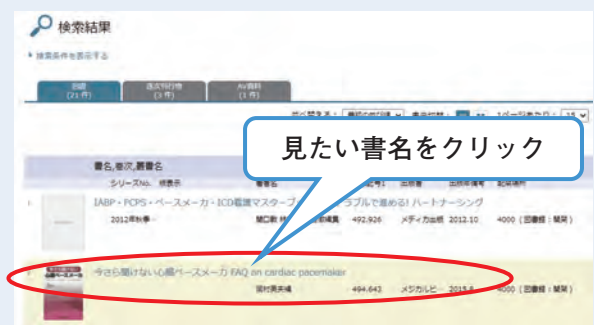
※館外から利用の場合は以下の URL または QR コードからアクセスして下さい。

【URL】

<https://junshin.opac.jp/opac/top>



2 「資料を探す」というところで、本の**題名**や**キーワード**を入力欄へ入力した後、「**検索**」ボタンを押します。
なお、「検索」ボタン下の「**詳しく探す**」をクリックすると、色々な条件を追加できるようになります。



3 結果の中から、目的の**資料名**をクリックすると、その本についての詳しい説明が出ますので**メモ**か**写真**をとりましょう。



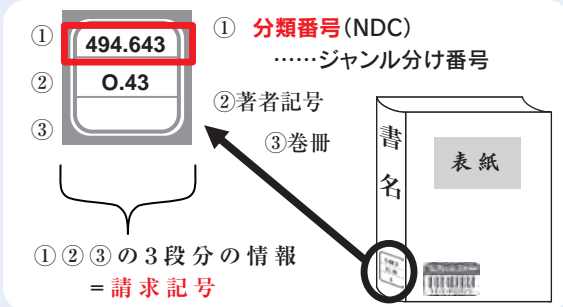
赤字項目は必ずメモ

- 登録番号 → 400011652
- 請求記号 → 494.643||O.43
- 配架場所 → 図書館：開架
- 書名 → 今さら聞けない心臓ペースメーカー
- 版表示 → なし
- 著者名 → 岡村英夫 編
- 出版社 → メジカルビュー社

4 メモを持って、書架（本棚）へ資料を探しに行きます。

【探す時の目印】

資料の背表紙に貼っているシール



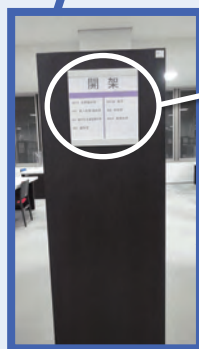
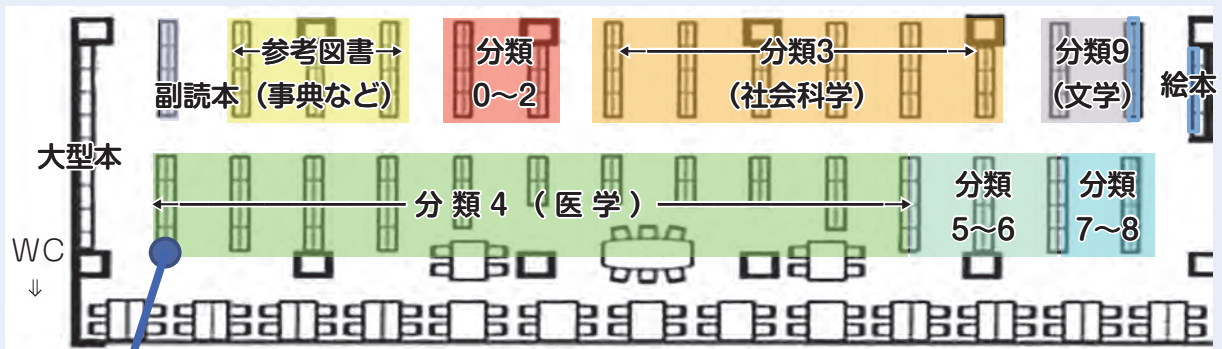
貸出できない本

背表紙に以下のシールが貼っている本は貸出できません。図書館内で見て下さい。



5 書架の側面には、(ジャンル) 分類番号を示しています。[6] の資料の並び順を参考に、メモした分類を探して下さい。

【分類番号の一番頭の数字の位置】



開架	
494.9 泌尿器科学	493.98 育児
495 婦人科学,産科学	494 外科学
496 眼科学,耳鼻咽喉科学	494.8 皮膚科学
497 歯科学	



GET !



6 [資料の並び順]

- ①分類番号：向かって左から右に
数字の小さい方から大きい順
- ②著者記号：A から Z へ

コピー

図書館内の図書・雑誌のみコピー可能です。カウンターへお申込み下さい。

- ※白黒1枚につき10円(カラーなし)
- ※ミスプリントもコピーに含まれます。
- ※ノート等のコピーは本館1F 就職コーナー設置のコピー機等をご利用下さい。

その他の OPAC 利用方法

純真学園図書館メニュー

図書館利用方法 <https://junshintoshokan.web.fc2.com/>
純真学園図書館の利用方法です。

問題集

「看護師国家試験Web」など国家試験問題集関係のリンクをまとめています。

文献検索 (リンク集) <https://junshintoshokan.web.fc2.com/database.html/>
ネット上にあるデータベースと利用した文献の探し方、探すためのリンク集を紹介しています。

問題集 <https://junshintoshokan.web.fc2.com/examin>
資格試験 (国家試験) やSPIなどの問題について

電子ジャーナル【JournalWeb】

大学・短大で契約している学術雑誌 (電子版) へのリンクをまとめています。

電子ジャーナル【JournalWeb】 <https://jweb.kino>
本学園で契約している電子ジャーナルをまとめていま

電子書籍配信サービス

①【MeL】

②【KinoDen】

大学・短大で契約している電子書籍です。学内のパソコンから、または学内Wi-Fiにスマホ等で接続する事で読む事ができます。
※学内からメール登録をする事で自宅など学外からのアクセスも可能です。

電子ブック配信サービス【MeL / KinoDen】 <https://kino>
純真学園図書館で所蔵している電子書籍を利用できる開いたページ上部中心付近の「購読契約タイトル一覧

純真学園図書館 公式X (旧Twitter) <https://twitter>
休館日や新着図書情報などを呟いています (随時更新)

データベース

文献検索 (リンク集) ※OPAC>純真学園図書館メニュー内

OPACのTOPページに「純真学園図書館メニュー」があります。

それぞれ図書館の便利な利用方法をまとめています。

なかでも、**文献検索 (リンク集)** は、レポートや卒業研究で先行文献を探す為の、データベースへのリンクをまとめています。

- ・医中誌Web……医学・看護学分野の論文情報の検索
- ・メディカルオンライン……医学・看護学分野論文情報の検索および本文閲覧
- ・J-DreamⅢ……日本最大級の科学技術系文献データベース ……など

文献の取り寄せ

データベースで探したものの、見たい雑誌記事や参考にしたい図書が図書館に無い場合、記事のコピーや図書自体を他大学から取り寄せる事ができます (実費)。雑誌や本の情報を「資料調査依頼票」に必要事項を記入し、図書館カウンターへご提出下さい。

図書館利用方法>【資料調査依頼票】

<https://junshintoshokan.web.fc2.com/news.html>



- ▶ 取寄期間：1週間～1ヶ月程度
- ▶ 費用：複写料 (A4～A3：1枚50円程度) + 送料 + その他経費 (消費税など)
※卒業研究 (大学4年) は卒研費より支払い。ただし担当教員の承認印が必要です。

館内案内図



図 書 館 だ よ り

図書館からのお願い



図書館内では
お静かに



携帯電話は
マナーモードに

返却遅れのペナルティについて

本の返却が遅れるごとに、**遅れた日数分のペナルティ（貸出停止期間）**を科しています。

「大事な実習時期に借りられない！」という事が無いように注意して下さい。



食事は館外で
(水分補給は OK ですが、
水筒などフタつきの物のみ)



充電はご遠慮を
(ノートパソコン
接続用です)



借りた本は返却日
までに返して



大事な物は
必ず持ち歩いて

★図書館へのご意見・ご要望は★メールまたは、図書館スタッフまで★

■ 学生のみなさんへ ■

人に聞く、ネットで調べるなどいろいろなやり方がありますが、そのような時、大いに図書館を利用して下さい。本を読むことを通して、新しいことを知る楽しさを体験し、新たな自分の発見に役立てて下さい。図書館への意見なども歓迎します。それが、より利用しやすく役立つ図書館改革の一歩となります。

【E-Mail】

library@junshin-u.ac.jp

【X(旧Twitter)】

純真学園図書館 公式アカウント



令和 5 年度図書館長
石橋孝明

令和 5 年度図書館運営委員
脇崎裕子 (大学看護学科)、具然和 (大学放射線技術科学科)、片山雅史 (大学検査科学科)、
真茅孝志 (大学医療工学科)
宅間真佐代 (短大食物栄養学科)、川崎徳子 (短大こども学科)、斉藤貴子 (純真高校)

令和 5 年度図書館スタッフ
山本哲也 末益清美 徳田明菜 吉田奈未 野口啓世